

日本パラスポーツ看護学会 NEWSLETTER

創刊号 (2025.1)

日本パラスポーツ看護学会

一障がい者のスポーツに関する日常生活全般を支援できる看護職の専門性の確立と育成、および障害者スポーツの取り組む当事者の思いの社会化を目指しています。

学会創設7年目のニュースレター創刊です。学会のあゆみの源流は障がいをもつ人や周りの方々がパラスポーツを通してより幸せであること願う知恵から生み出されるエネルギーです。その流れを大切にするニュースレターをよろしくお祈いします。

日本パラスポーツ看護学会 理事長 田村玉美

日本パラスポーツ看護学会ロゴ



第5回学術集会（大阪）からお馴染みの、本学会のロゴマーク。画家の尾崎ゆき子さん（二科会展覧会）に出品された「天使がやって来た」の絵画の一部

を、本学会のロゴマークにとご提供いただきました。この絵には、「次男の笑顔で、どれだけ励まされた事か！50年の間、次男に育ててもらい、教えてもらった。天使がやって来た！としか思えないのだ。」という文章が添えられていました。看護職が障がいをお持ちの方々を支援しているように見えて、実は育ててもらい、教えてもらっているのは自分たちの方なのだ、という学会の理念を象徴しています。

（福島県立医科大学 黒田るみ）

活動報告

「第4回モリコロパーク ローラースキー大会に帯同して」安全管理のため看護スタッフとして参加をしたローラースキー大会（2023年10月開催）では、本部内に設置された救護スペースを拠点に、競技中はゴール付近で選手たちの活躍の様子を見守りました。開催時刻ぎりぎりまで雨が降り、競技会場となるサイクリングコースが濡れていたため転倒などの事故を心配しましたが、幸い大きな事故や負傷者なく大会を終えることができました。パラノルディックスキー体験会では、北京パラリンピック出場の森宏明選手の講演会が開催され、参加者の熱心な姿が印象的でした。今回大会スタッフとしての参加の機会を頂き、関係者の皆様へ感謝を申し上げます。また、今回感じたことは、スタッフの皆様へもこのような大会での看護職の活動がまだまだ浸透されていないという現実です。今後、自身の地道で積極的な活動に加え、看護学生も含めた活動の輪を広げたいと感じています。（名古屋学芸大学 出原弥和）

相談コーナー

日頃よりパラスポーツに参加されている方、サポートをされている方、身近に相談できなかつたり、しづらかつたりすることがありませんか。そのような疑問に学会員がお答えします。お気軽にご相談ください。

相談窓口

https://docs.google.com/forms/d/17_TJDSpNCydk6NMEDBPPYRJ_A478IQmbKmYoNVIK-yA/edit

*お返事にはお時間を頂く場合がございます。ご了承ください。

第7回学術集会のご案内

2025年6月22日（日）に滋賀県立障害者福祉センターで開催をいたします。テーマは「健康とスポーツの融合～看護師と他職種との連携～」です。詳細は、学会ホームページをご覧ください。

入会のご案内

入会者の特別な条件はございません。どなたもご入会いただけます。学会ホームページの「入会案内」から手続きができます。

学会ホームページ

<https://jparans.com/>

